

公益社団法人私立大学情報教育協会
2023年度第1回大学職員情報化研究講習会運営委員会議事内容

I. 日 時：令和5年7月6日(木) 14:00 から 15:15

II. 場 所：Zoom 会議室

III. 参加者：河合担当理事、木村委員長、中本副委員長、祖父江副委員長、尾前委員、大野委員、茂木委員、小野委員、柳委員、永間委員、尾崎委員、金崎委員、宮口委員、前川委員、東條委員
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 委員の紹介

担当理事から挨拶の後、各委員の紹介を行った。

V. 検討事項

大学職員情報化研究講習会実施について、事業計画で10月に基礎講習コース、12月にICT活用コースを計画することを確認した上で、基礎講習コースの開催枠組みを検討した。

1. 開催方式、日時、場所について

- ・ 対面方式で THE HAMANAKO にて開催することにし、開催日を10月4日～6日または10月18日～20日に2案として、会場の確保状況で確定することにした。
- ・ 開催日数は、2日開催の意見もあったが、各地域からの移動を想定した場合に後泊となり、翌日が移動のみより十分に研修させて帰ってもらった方が良くこととなった。

2. 情報提供について

- ・ 情報提供は、「データ取扱い」、「DX事例」、「生成系AI利用事例」、「セキュリティ」の項目で進めることが確認された。
- ・ 具体的なイメージでは、ChatGPTの技術的な背景なども説明に含めてはどうか、セキュリティの注意喚起は必要、AIの種類やテータ的な比較を見せられないかなどの意見があった。
- ・ 講師の選定に向けて、テーマや人選など委員からメールで意見を受け調整することにした。

3. グループ討議について

- ・ 課題解決の演習として、教育改革DX、学生支援DX、業務改革DXの改善案としていたが、テーマ設定まで時間を要していたことから、具体的なテーマを提示して演習させる対応も検討することにした。
- ・ 昨年までの様子では、業務改革DXを選択したグループが多く、現状では、働き方改革に向けたDXという方向もある。教育改革や学生支援についても具体的なテーマを提示すれば考えやすいのではないかと。

4. 発表について

- ・ 従来の模造紙にまとめる方式は止めて、パソコン持参を求め、プロジェクターでの発表を検討することにした。ただし、パソコン持参者の無いチームはホワイトボードでの発表も可とすることにした。
- ・ 発表は、全体での実施を検討するが、場所の都合で2カ所別れる場合も想定する。
- ・ 中間発表実施の可否は、他グループの確認・意見聴取やグループ討議の気分転換などの意図から2日目午後に中間発表の場を設けることにした。
- ・ また、グループ討議のリフレッシュ意図で、会場確保等の課題はあるが、2日目の朝に情報提供を1本入れてはどうか。

5. その他の事項について

- ・ 時間設定は、大学の就業時間を想定して、9時から17時の範囲でスケジュールを組むことにした。
- ・ 宿泊は、シングルユース設定のみとする。他グループとの交流は、以前設定の夕食後フリーディスカッションを行わず、夕食時に同じ職種の名刺交換を促進させるなど工夫を考えることにした。
- ・ コロナ感染対策の意図で、マスク持参のお願いを開催要項に記載することにした。

VI. 今後のスケジュール等

- ・ 情報提供の内容、グループ討議のテーマ、中間発表の工夫について、各委員の意見をメールで集めて開催要項案の作成を進めることにした。
- ・ 次回の委員会は、8月中旬以降に開催要項確定と役割分担について開催し、11月にICT活用コースの検討について開催する予定にしている。